

成績評価について

(1) 5段階方式の成績評価と GPA による成績評価を併用

①学則第19条に基づき、各科目の成績評価は、90点以上をS、80点以上90点未満をA、70点以上を、80点未満をB、60点以上70点未満をCとしている。60点未満は不合格としている。この成績評価に併用して、日リハ方式のGPAを導入した成績評価を、前期、後期及び通年ときめ細かく評価行っている。

GPAは学生の履修した科目の1授業当たりの平均の成績を指す。

(2) 保護者への成績通知

①通知書には、各科目の成績評価について5段階（A・B・C・D）の表記とともに、GPAに基づく成績評価についても表記している。

②なお、GPAによる成績評価については、学生の履修した科目に関する前期及び後期並びに通年の1授業当たりの平均を表記するとともに、GPAの内訳としての成績評価をS(4点)×科目数・A(3点)×科目数・B(2点)×科目数・C(1点)×科目数・D(0点)×科目数として表記している。即ち前期及び後期及び通年における1授業あたりの平均成績評価であるGPAとその内訳である成績評価を以下の通り例示として表記している。

【例示】

年度	時期	GPA	通年 GPA 値	S	A	B	C	(C)	D
2016	前期	0.80	0.80	0	2	1	0	1	6
2017	前期	2.33	1.38	1	2	1	2	0	0
2017	後期	1.76	1.58	2	4	3	4	4	0
2018	前期	2.13	1.63	0	3	3	2	0	0
2018	後期	1.80	1.71	3	2	3	3	4	0

(3) GPA に基づく成績評価利用の要点

本校ではGPAを、①学生の授業理解度を把握し、今後の授業内容や教育方法を改善する場合のデータ、②成績不振者への学習指導や進路指導のデータ ③留年、退学（進路変更）の警告のデータ及び④成績優秀者の選出の参考データとして、利用している。

【参考】「日本リハ方式GPAに基づく特別学習指導

ア 平成18年4月1日より施行。

イ 日リハ方式GPAの特徴

- ・日本リハビリテーション専門学校独自の基準である。
- ・公平性・透明性に優れた基準である。

ウ 日リハ方式G P A導入の目的

科目ごとに学生の授業理解度を把握し、一定基準を下回る学生への指導及び教員の授業内容や方法の改善等を図るためのデータとして利用することを目的とする。

エ 日リハ方式G P A評価の利用方法

以下のデータとして利用する

- ・成績不振者への進路・学習指導
- ・留年、退学（進路変更）の警告
- ・学生の授業理解度を把握し、今後の授業内容や方法を改善
- ・成績優秀者の選定

オ 日リハ方式G P Aの算出方法

$$\frac{(S \text{の科目数} \times 4 \text{ポイント}) + (A \text{の科目数} \times 3 \text{ポイント}) + (B \text{の科目数} \times 2 \text{ポイント}) + (C \text{の科目数} \times 1 \text{ポイント}) + (D \text{の科目数} \times 0 \text{ポイント})}{\text{履修科目数}}$$

=授業当たりの平均成績

(注) S・・・90点以上

A・・・80点以上90点未満

B・・・70点以上80点未満

C・・・60点以上70点未満

D・・・60点未満（不合格）

本試験での成績（S・A・B・C・D）により、GPA評価を行う。

再試験や再々試験（特別再試験）の成績はGPA評価の対象外である。

カ 特別学習指導対象の基準

- ・GPA 1.8以下の学生（全科目がB評価の場合はGPAは2.0）は特別指導の対象となる。
- ・GPA 1.5以下の学生は留年・退学の警告の対象となる。